

認知症とともに生きる

～誰もが自分らしく暮らせるまちへ～

本教材は、小学5年生～中学2年生の総合的な学習の時間の福祉をテーマにした授業で活用することを想定しています。

＜本教材を活用した場合の学習指導過程の例＞

（2時間で実施する場合）

学習のねらい：認知症のことや認知症の人の思い等を知り、誰もが自分らしく暮らせるまちについて考える。

| | | | |
|----------|-------------------------|---|---|
| 1 時間目 | ＜導入＞ ＜学び、理解を深める＞ | 演習① 「認知症」について、イメージや知っていることを考える。 冊子全体の概要 1 認知症とともに生きる社会ってなんだろう？ 2 認知症ってなんだろう？ 演習② 「認知症」について、イメージはどう変わったか、考える。 | 表紙 0ページ 1ページ 2ページ ↓ 6ページ |
| 2 時間目 | ＜振り返り＞ | 3 認知症の人の暮らしの工夫を知ろう 演習③ 忘れ物をしない工夫や道に迷った時の工夫を考える。 4 認知症の人と周りの人の関係を知ろう 5 認知症の人の思いを知ろう 6 「新しい認知症観」ってなんだろう？ 演習④ もし、大切な人が認知症になったら、どうするか、誰にどのように相談するか、考える。 演習⑤ 学んだことを家族と話し合っ、家族の意見を聞く。 | 7ページ 8ページ 9ページ ↓ 10ページ 11ページ |